

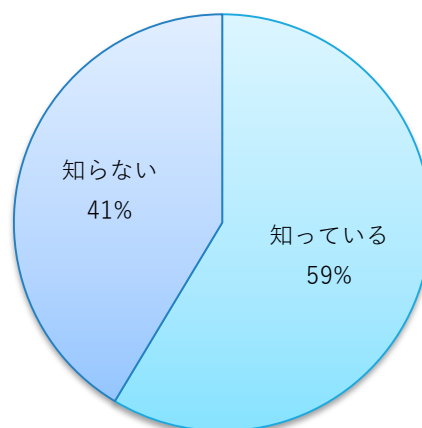
地区別人権教育市民講座について

募集期間：2025/7/1-2025/8/31 回答総数 58 人

新居浜市では、様々な人権問題の解消に向けて、身近に潜む差別に気づき、解消に向けて取り組む意欲を高めるとともに、人権が尊重される家庭・地域・職場づくりを推進していくための学びの場を提供すること等を目的として、地区別人権教育市民講座等を開催しています。このアンケートでは、本講座についての市民の皆さまの認知度や、参加への意欲を高める方法、活動内容の充実のヒント等を調査したいと考えております。ご協力よろしくお願いいたします。

Q 1：「新居浜市地区別人権教育市民講座」を、ご存じですか？（1つ選択）

知っている	34 人
知らない	24 人
合 計	58 人

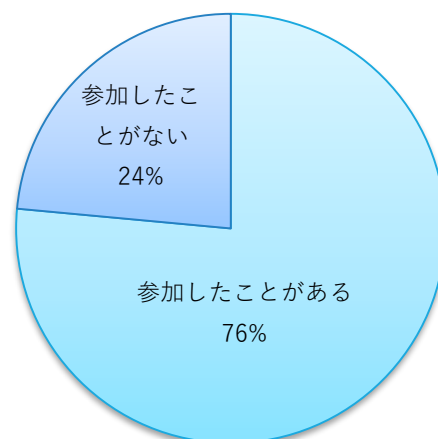


Q 2：Q1で「1. 知っている。」を選択された方にお伺いします。何によって「新居浜市地区別人権教育市民講座」を知りましたか？（複数選択）

1. 公民館でのチラシや公民館報で	13 人	13
2. 新居浜市公式 LINE で	14 人	14
3. 学校関係者、PTA 等から聞いて	10 人	10
4. 知人等から聞いて	2 人	2
5. 組織・団体等で聞いて	17 人	17

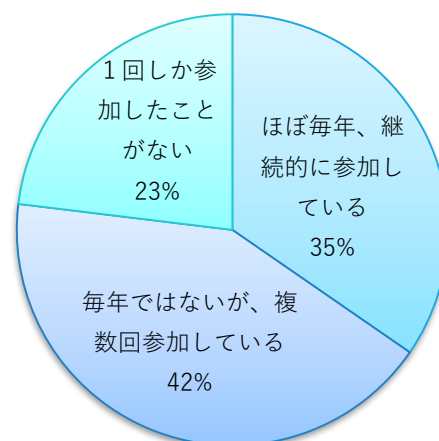
Q3：Q1で「1. 知っている。」を選択された方にお伺いします。「新居浜市地区別人権教育市民講座」に参加したことはありますか？（1つ選択）

1. 参加したことがある	26 人
2. 参加したことがない	8 人
合 計	34 人



Q4：Q3で「1. 参加したことがある。」を選択された方にお伺いします。初回参加後に、継続的に参加していますか。（1つ選択）

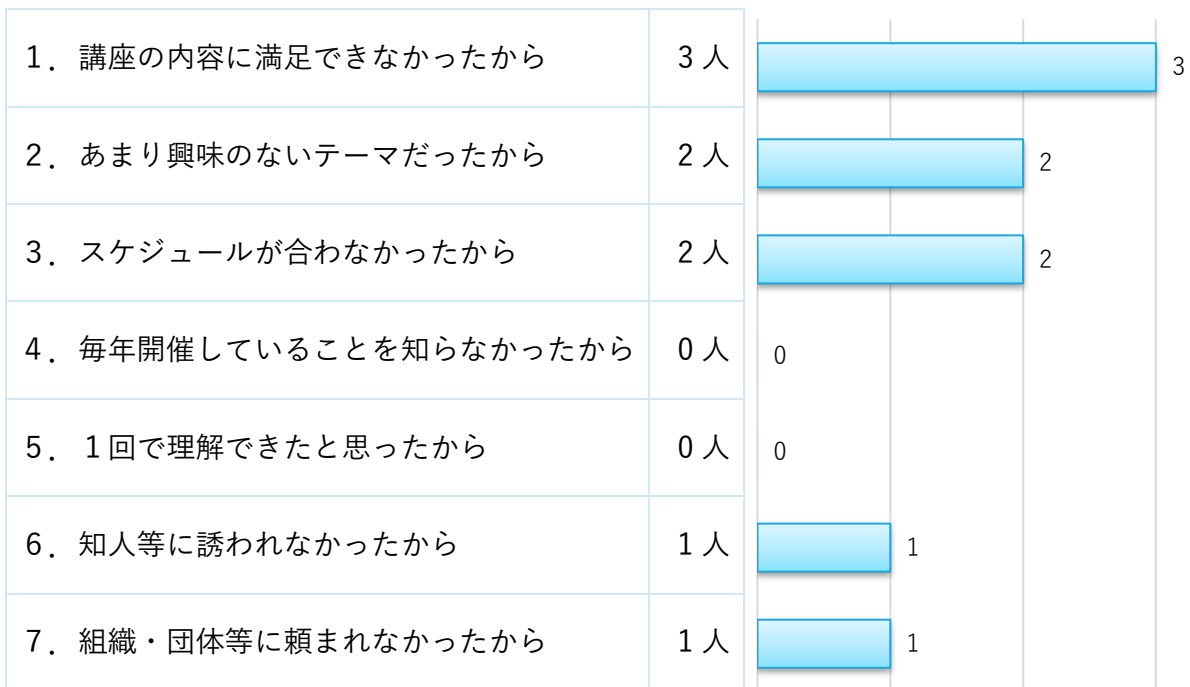
1. ほぼ毎年、継続的に参加している。	9 人
2. 毎年ではないが、複数回参加している。	11 人
3. 1回しか参加したことがない。	6 人
合 計	26 人



Q5：Q4で「1. ほぼ毎年、継続的に参加している。」又は「2. 毎年ではないが、複数回参加している。」を選択された方にお伺いします。複数回参加している理由として該当する項目を選んでください。（複数選択）

1. 人権意識を高めたいから	9 人	9
2. 様々な人権問題（侵害）について学びたいから	5 人	5
3. 1回参加して内容が良かったから	1 人	1
4. 知人等に誘われたから	1 人	1
5. 組織・団体等に頼まれたから	15 人	15

Q6：Q4で「3. 1回しか参加したことがない。」を選択された方にお伺いします。2回目以降参加していない理由として該当する項目を選んでください。（複数選択）



Q7：Q3で「2. 参加したことがない。」を選択された方にお伺いします。「新居浜市地区別人権教育市民講座」を知っていたけど参加しなかった理由を教えてください。例：必要性を感じなかったから、スケジュールが合わなかったから、内容が難しそうだったから等（自由記入）

ご回答ありがとうございます。ご記入いただきました回答の一部をご紹介します。

- 日程・スケジュールが合わなかったから。（複数意見あり）
- 子どもがいるため参加しにくい。
- 必要性を感じなかったから。（複数意見あり）

Q8：市では現在、公民館でのチラシ配布、自治会の広報塔、コミュニティ FM、新居浜市公式 HP や公式 LINE 等を活用して、「新居浜市地区別人権教育市民講座」の開催を周知しています。より多くの市民の方に周知する方法として効果的と思われるものを教えてください。例：市政だよりへの掲載、自治会回覧版による回覧、図書館等利用者が多い施設へのチラシ設置等（自由記入）

ご回答ありがとうございます。ご記入いただきました回答の一部をご紹介します。

1. 周知媒体に関する意見

- SNS による定期的な発信

- Instagram でストーリーに何回かあげて欲しい。参加も申込フォームもリンクにしてほしい
- ケーブルテレビでコマーシャル
- 病院の待合室、スーパー等の商業施設の掲示板やエコバッグ台付近にチラシ設置
- 自治会回覧板、広報塔を活用する
- 市政だよりへの掲載

2. 周知の方法・工夫

- オンラインで受講出来るようにしてほしい。
- 自治会で回覧するのに冊子を作っているが、2〜3ヶ月毎に回覧物を作成し、市民により読んでもらえるものにすべきと思う。

3. 対象者への配慮やターゲティング

- 市民よりも市内にいる外国人に説明するべきだ

4. 現状への意見・改善案

- 現状で特にない
- それが目に入ってきてても自分が必要とする情報ではないからなにをやっても手に取らないし先には進まない
- 紙ベース配布による情報発信には限界が来ているように感じる
- 義務教育にもっと人と金を

Q9:「新居浜市地区別人権教育市民講座」に参加したくなる方法として、効果的と思われるものを教えてください。(自由記入)

ご回答ありがとうございます。ご記入いただきました回答の一部をご紹介します。

1. 話題性のあるテーマや講師の起用

- 有名スポーツ選手や著名人、歌手のプチ講話やプチ歌ライブなどを含めて、1回配信だと価値も上がるので、個人のSNSでの拡散も増えるのではと思います。
- 水樹奈々さんとかに依頼して「差別、かっこ悪い!!!」などのフレーズを収録してもらい、メディアCMやYouTubeなどで繰り返し発信するほうが効果が高いと感じます。

2. インセンティブ（あかがねポイント・記念品・グッズなど）

- 行くと、何かの特典があるとかはどうでしょうか？

3. 親しみやすい雰囲気・内容にする工夫

- タイトルの変更。固すぎる。漢字ばかり。様子の分かる写真、それも固いやつじゃなくて、和やかにやってます、みたいな写真。
- 講義形式ではなく、対話形式で、皆の価値観を深められるような内容なのだろうか。
- 主体的で対話的な講座の作り方、コーディネーターを入れて、てこ入れするのはいかが？
- 友人と行ったら参加後に、周りが勝手に話しかけてこない、一緒に行った人とだけ

でゆっくりお茶ができる時間とお茶とお茶菓子が出てくるのなら行くかどうかを考える材料になる。公民館の会議室でもいいので、他の人からは話しかけられないことが大事。もちろん話しかけて欲しい人がいるなら区別が付くようにすれば良いコミュニケーションの機会にもなると思う。

4. 身近な題材の取り上げ

- レジメや資料の充実、身近な具体例（市内）、視覚的にわかりやすい動画の利用、ワークショップ。

5. 周知・PRの工夫

- チラシに分かりやすい漫画とかで刷り込む。
- 病院の待合の壁のチラシとか。

6. 会場・アクセスの工夫

- 高齢者は送迎付きで趣味教室とか何かとの抱き合わせに。

7. オンライン・デジタル活用

- オンライン講座の開催。
- 講座の参加が現地に行かないと受講できないやり方でなく、ライブ配信等も取り入れてほしい。ライブ配信を各公民館でみんなで聴講したり、自宅で参加も出来るハイブリッド式ではどうでしょうか？
- Zoomだとグループ割りも出来る。

8. 対象者・時間帯・環境配慮

- 呼んでも来ない人は無理やり見る機会を作るしかないのかなと思う。
- 年齢性別問わず広める方法はほぼ無く、ターゲット年齢を絞った策が効果あるのかな。
- 会社員なら会社を巻き込めば地域活動という名目で講習の時間を捻じ込む。
- 幼年期の子育て主婦なら子どもイベントに。
- 子どもも大きい主婦ならチラシに分かりやすい漫画とかで刷り込む。

9. 参加者の不安を軽減

- 自分の意見を出したくないけど、他の人の意見は聴きたい、参加したいという場合もあるので、ディスカッションは現地（公民館）で集まった人が中心にする方がいいかなとも思う。
- 名称が差別問題っぽいから、参加しにくい。

10. 講座の意義・効果の周知

- 人権教育は、この先も必要だと思います。
- 人権教育を5分でも良いので、市民一人一人が考えられるように人権教育のハードルを下げてほしいです。
- 人権教育講座を地区別に行う意味や効果があるのか疑問です。

11. その他の提案・意見

- 知人からの誘いがあれば参加しやすい。

12. 否定的な意見

- 参加者が固定化されており、自発的に参加している人は少ないように感じる。廃止す

ることや現在の形態からの変更をした方が良いのではないか。

- 「新居浜市地区別人権教育市民講座」まずこの長文漢字を見るだけで思考停止する人も居ると思います。義務教育の時に人権の学習はしたので、「もう知ってるよ」という気持ちになるでしょう。
- 忙しい中、無料でも足を運んでまで知らない方の講義を聞くというのは難しい。

総括

今回実施した「地区別人権教育市民講座」についてのアンケートでは、市民の皆さまから、多数の貴重なご意見をいただくことができました。

講座を知った理由として、市公式 LINE や公民館でのチラシという回答が多かったことから、ご覧になった方が参加したくなるように、各媒体の内容を工夫していきたいと思います。

また、複数回の参加者が80%近かったものの、参加理由については組織・団体からの依頼の割合が約半分であったことから、自主的な参加者を増やすという課題が発見できました。

そのほか、効果的と思われる周知方法としてご意見のあった、自治会回覧板による回覧や市政だよりへの掲載等については、今後の具体的な実施について早速検討してまいりたいと思います。

アンケートにご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。

(担当課：人権教育課)